

1 アーヤと魔女



ダイアナ・ウィン・ジョーンズ/作
佐竹美保/絵
田中薫子/訳
徳間書店
1700円

93ウ012

身よりのないアーヤは、ある日魔女の家に引き取られます。

いじわるでさんざんこきつかう魔女に対し、少し生意気にへこたれず応戦するアーヤのたくましい姿が、とても小気味よく楽しく読める作品です。

2 宇宙人のいる教室



さとうまきこ/作
勝川克志/絵
金の星社

1200円

91ウ012

へんな転校生、星レオナはクラスの友達にいじめられてしまいます。そんなある日、テツヤはレオナの家へ行くことになりました。そして、レオナの家の中を見て、宇宙人ではないかと思い始めます。レオナとテツヤの心温まる友情のお話です。

3 おっちゃん、
なんで外で寝なあかんの？
こども夜回りと「ホームレス」の人たち



生田武志/著
下平けいすけ/絵
あかね書房

1200円

361012

ホームレスの人たちのことを正しく知ることが一番大切と思って始められた「こども夜回り」。

子どもたちがホームレスの人たちからさまざまな話を聞き、その人たちを理解していく実話です。

4 オバケの長七郎



ななもりさちこ/作
きむらなおよ/絵
福音館書店

1400円

91ナ012

未熟で小さなオバケの長七郎はみんなをこわがらせようとしませんが、反対に人気者になり、ちっともこわがってもらえません。少しずつ成長する長七郎と町の人々との楽しいお話です。

5 じったんのオムライス



大久保美行/作
大野八生/画
くもん出版

1300円

91ナ012

むかし料理人だったじったん（ママのお父さん）の作るオムライスによって、息子たちとママが絆を深める様子が温かく描かれています。巻末のレシピも子どもたちの創作意欲や食欲をそそることでしょう。

6 11号室のひみつ



ヘザー・ダイヤ - / 作
ピーター・ベイリー / 絵
相良倫子 / 訳
小峰書店
1400円

937011

両親を知らないトビーは、ある日海の中で風変わりな一家と親しくなります。そして、その一家を救うため自分が居候しているホテルの一室にかくまうのですが...

最後までハラハラする展開に、ページをめくる手が止められなくなる1冊です。

7 スティーブ・ジョブズってどんな人？



Nam Kyongwan / 作
Ahn Heegun / 絵
藤田千枝 / 文
汐文社
1500円

E

アイポッド、 아이폰を考えた人はちいさいときはいたずらっ子でしたが、さまざまな出会いやできごとをとおして成功と失敗をします。

スティーブ・ジョブズが世界をどのように変えたかがわかるお話です。

8 鷹匠は女子高生！



佐和みずえ / 著
汐文社
1400円
787011

タカなどの猛禽類を飼いならし、狩りなどに使う「鷹匠」の仕事をする女子高生、石橋美里さんを取材した本です。

鷹匠として、カラスなどの害鳥駆除をする中で感じた「いのちに感謝すること」などの思いが込められています。

9 ちっこばあばの泣いた夜



福明子 / 作
ふりやかよこ / 絵
新日本出版社
1400円
917011

いじめられて学校に行きたくない気持ちを、いつもやさしい笑顔で聞いてくれるちっこばあば。そんなばあばも病気の辛さと戦っていることに気付き…。つらい思いをしているからこそ、人の痛みに寄り添うことができる感動の一冊です。

10 読書介助犬オリビア

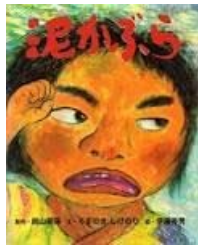


今西乃子 / 作
浜田一男 / 写真
講談社
600円
361009

子どもたちが喜んで絵本の読み聞かせをしている相手は、犬?!

読書介助犬として訓練を受け、子どもたちの心を開き、読書の喜びを広げている犬たちの感動の実話です。動物にも読み聞かせを試みたくなるかもしれませんよ。

1 1 泥かぶら



眞山美保/原作
くすのきしげのり/文
伊藤秀男/絵
瑞雲舎
1600円

E

「3つのことをやり遂げればきっと美しくなれる」と教わった「泥かぶら」とよばれた女の子。彼女の成長を通して、人として生きるうえで大切なことを子どもたちへ伝えることができる作品です。同タイトルの舞台劇を絵本化したものでもあります。

1 2 ハンナの学校



ゲロリア・ウィラン/作
スギヤマカナヨ/絵
中家多恵子/訳
文研出版

1200円

937012

目の見えない少女ハンナが、ロビンソン先生の勧めで初めて学校に行きます。未知の環境で困難や感動に出会い、自分の可能性を開いていくハンナ。できないと思い込んでいたことができる喜びを描くストーリーに、新鮮な感動が広がります。

1 3 ふたりだけの運動会



あいはらひろゆき/作
佐藤真紀子/絵
佼成出版社

1300円

917012

「入院しているお母さんに元気になってほしい！」自分ががんばる姿を病室のお母さんに届けようとカー杯走る男の子。そんな思いをいつも側で応援してくれる親友。親子の絆や友情の温かさに心が熱くなる作品です。

1 4 夜明けの落語



みうらかれん/作
大島妙子/絵
講談社

1300円

913012

朝の会の3分間スピーチも言えない。そんな引っ込み思案な4年生の女の子が人前で落語をすることに！落語の魅力を教えてくれた元気な男の子へのほんのり甘い恋心も添えて、落語の楽しさを一緒に味わえる一冊です。

1 5 ライオンがいないどうぶつ園



フレート・ロドリアン/作
ヴェルナー・クレムケ/絵
たかはしふみこ/訳
徳間書店

1600円

940012

町長さんは、どうぶつ園をつくります。けれど、できたどうぶつ園にはライオンがいなくて、町みんなはがっかりします。そこで、ビーネとウリがライオンをつれてくるためにいろいろ考える楽しいお話です。